



今年度は、11月14日「感動的な体験を通して、児童・生徒が地域とつながりながら、意欲的に自己を表現しようとする心情を育てること」をねらいとして開催しました。今年度も、会場を吉舎中学校体育館とし、「きさ」で学ぶ園児、児童生徒の発表を多くの方に見ていただきました。

各校での様々な教育活動で身に付けた表現力を思う存分発揮し、吉舎で学ぶ仲間、保護者・地域の皆様から多くのエールをいただくことが出来ました。ありがとうございました。今後の学校生活に生かしてまいります。

なお、ご協賛いただきました青少年健全育成吉舎町民会議の皆様、会場運営にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



今年、日彰館高等学校書道部の作品展示がありました。

八幡小 やわた子ども太鼓 群読「まんじゅうこわい」



○太鼓のきれいな響きが耳だけでなく体全体に伝わってきて感動した。音が揃っていて迫力があった。途中の声出しが特に印象に残った。

○「まんじゅうこわい」は、衣装や舞台を歩き回らなくても想像しやすいように仕向けている演技力が凄いと感じた。マイクなしでもよく聞こえ、初めて聞く話だったけど分かりやすかった。

○個々の声も大きく団結力があり一つになっていた。太鼓も伝統を感じられるものだった。

○初めて八幡太鼓を見た。凄い迫力があって上手。

吉舎小 学習発表 「折り鶴が飛ぶ日」「吉き舎り」



○5年生は、平和について語っていて戦争を知ることや伝えることは自分達にもできるから「つなぐ」をしようと思った。

○やはり広島に住む者としても、これからの未来を生きる者としても、広島に落とされた原爆について目を向けることは大切だと思った。

○原爆のことについて、「どう感じたか」、「どうすれば解決できるか」を調べ、伝えたいという思いが感じられた。

○自分は、吉舎出身ではないが、吉舎にまつわる伝説について劇を通して知ることが出来た。

吉舎中 一人一研究 全校合唱「心の瞳」



○一人一研究では、吉舎町について主体的に考え、吉舎をどうすればもっと盛り上げることができるかについて積極的に考慮し、アイデアを出していて凄いと思った。全校合唱では、一人一人の歌声が全体の声と混ざり合い、それが一つの音になっていて、聞いていてとても心地よかった。パート同士の重なりが綺麗だった。

○3年生の発表は、自分が3年生になる上でとても参考になった。

○吉舎をもっとよくしたいという気持ちが発表からうかがえた。

吉舎保育所 歌・ピアノ・銭太鼓



○大きな声と大きな動作で楽しく歌っていた。ハーモニカの演奏も、リズムにのって、いっぱい練習したことが伝わってきた。

○銭太鼓は、体全体を使って全力で表現することができていた。リズムをとり、軽快な動きができていた。

○歌の発表の時に、歩いたり手をたたいたりする動作を入れていてよかった。

○とても可愛らしく、見ていただけたくさん元気をもらいました。



吉舎中吹奏楽部 日彰館高等学校吹奏楽部 合同ステージ



○曲の中での抑揚がとても強調されていたり、曲の中で明暗も変化したりしていて凄いなと思った。音の繋がりがきれいに聴こえた。

○緊迫感と物語性を感じる二曲で頭の中で想像しながら聴くことが出来た。

○入場の時からインパクトがあって、部員が立って演奏しているところがかっこよく、私たちもお客さんも拍手して盛り上がった。

○合同演奏は、息があって最高に良かった。

全校合唱「花は咲く」



○「花は咲く」の歌詞から、吉舎町の人々の吉舎に対する思いが詰まっていたように感じた。この歌をみんなでそれぞれの思いで歌ったことが一番印象に残った。

○吉舎町の生徒たちが心を一つにして歌っていて心に残った。

○多くの人数でやるからこそそのハーモニーがとてもきれいでよかった。みんなで歌っている時、会場全体が一つになって、綺麗な歌声が会場に響き、感動した。

児童生徒 感想発表



今年度も、各校代表による感想発表を行いました。きさ全校で交流するよさを感じ、「手拍子で発表を見守る空間がよかった。」「地域のみなさんに伝えたいという思いがよく伝わった。もっと、吉舎の歴史を知ってほしい。」「共同制作アートでそれぞれの思いが繋がった。これからも、それぞれの学校のよさやつながりを大切にして生活していきましょう。」という願いが発表されました。きさ教育の日の目的である「感動的な体験を通して、地域とつながりながら、意欲的に自己を表現する」時間となり、充実したイベントになりました。

吉舎中学校生徒会執行部 堂々と進行

○はっきりとよく聞こえる進行や臨機応変な対応のお蔭でスムーズに進み、ほぼ予定の時間通りに終わることが出来た。

○「みなさんこんにちは」の始まりの声が元気よくて、「もうすぐ始まります」等の声かけもよかった。

○丁寧な言葉や気持ちのよい言葉で進行していたので、いい気分になれた。



「きさ」で学ぶ 幼児・児童・生徒の 共同制作 ～手作り横断幕～

今年度も、吉舎中学校生徒会からの呼びかけにより、「きさ」で学ぶ園児・児童・生徒による折り鶴・手形アートの横断幕が会場を飾りました。保育所年少児から日彰館高等学校3年生まで、オールきさの共同制作です。大きな虹は、みんなで折った7色の鶴をつないで制作しています。折り鶴と虹に、平和の意味を込め、結束して明るく楽しく取り組みたいという気持ちを込めています。



保護者・来賓・一般の方から多くの声を寄せていただきました ～一部紹介～

◇今年も素晴らしい「きさ」教育の日になったと思いました。各々が限られた時間の中で表現、発表されていたと思います。今日の表現や発表に至るまでの積み重ねやクラスメート、友達との関わりも充実したものがあったのではないのでしょうか。子ども達の頑張りに誇りさえ感じました。「きさ」教育の日が、永遠に地域に根付いた活動でありますように心からお祈り申し上げます。エネルギーなパフォーマンス、調べ学習の成果に刺激をいただきました。

◇幼児から小中高まで一堂に会する集まりは、とても素晴らしかったです。是非、継続してください。

コミュニティ・スクール開始から2年目。本会の意義や目的に立ち返りながら、内容について検討を重ね実施しています。今後も、保護者・地域の皆様と協働しながら、吉舎版資質・能力「主体性、コミュニケーション能力、志向性(なりたい自分へ挑む力)」の育成を目指します。「子ども達の未来につなぐ」取組を共に目指してまいりましょう。